

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の8名の方に審議委員をお願いしており、毎月1回（2月、8月は休会）番組について、ご意見を伺い、今後の番組制作の参考にさせていただいています。

テレビ静岡 平成28年11月度 番組審議会概要

平成28年11月10日（木）

14時00分～15時15分

テレビ静岡本社 3階会議室

— 出席委員 —

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子
木村 精治 上柳 正仁 齋藤 照安 花森 崇行 五十住和樹

— 議 題 —

番組名 「テレビ寺子屋」2000回記念
第2000回「吉岡たすく思い出の名講義 子どもはすばらしい」
第2001回「吉岡たすく思い出の名講義 一人で学校に来ない子」

放送日時 第2000回 平成28年9月18日（日）

第2001回 平成28年9月25日（日）

06時30分～07時00分 *全国24局ネット

(放送時間は各局異なります)

制作著作 テレビ静岡

— 番組内容 —

子育てに励む保護者や心豊かな暮らしを求める視聴者を対象に、数多くの講師を招き様々な意見や考えを紹介する講演スタイルの長寿番組。スタートは1976年、開始から約40年でこの秋2000回を迎えた。記念として2回に亘って、最も長くレギュラー講師を務めた故・吉岡たすく先生の名講演を選定して、山田パンダ氏がスタジオで解説した。画面の時代感はそのままに、子供たちを温かく導く吉岡先生の優しさの本質は、今も全く変わることなく現代人の心に沁み渡る。

— 審議概要 —

- ◎講演からかなり時間が経っているが、吉岡氏は今聞いても的を得ている。
- ◎吉岡氏は話はおだやかで子供目線、数分でさりげない感動に包むことができる。
- ◎吉岡氏は味のある語り口で心地よく、気持ちが吸い込まれる。
- ◎子育ては十人十色であり、押し付けずに問題解決の手がかりやヒントを与えるスタイルが、観る人に共感を与えるのでは。
- ◎2000回で「継続は力なり」と思った。番組のエネルギーがどこにあるかと思った。
- ◎内容が素晴らしく、夫婦そろって見ることができた。
- ◎音声の聞こえない人のため、手話を入れているのがよい。
- ◎「寺子屋」というタイトルは、年齢に応じた「寺子屋」だと思える。
- ◎テレビを通じて講演を聴くことができるスタイルが今も新鮮、このまま続けるべき。
- ◎子育てと専門教育の違いがわかった。人を作って行く温かさが子育てである。
- ◎スタジオ部分で後ろに配されていた、父母や子供たちにギャップや違和感があった。彼らからもらうコメントに、制作側からの意図が感じられなかった。
- ◎記念なのでもっと昔の映像や振り返りを沢山紹介した方がよかった。
- ◎年代を通じて番組がどのように変わってきたか、時代背景を紹介して欲しかった。
- ◎2000回の記念なのだから、1回目と2回目で趣向を変えた方がよかった。歴代の制作者から見た舞台裏や、番組を見て育った親子・祖父母世代の現代的目線など。
- ◎教育だけでなく、社会通念に切り込む内容に挑戦する番組作りを目指して欲しい。

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りで参考とさせていただきます。

次回の番組審議会は平成28年12月8日（木）の予定です。